

関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。2003年より特定非営利活動法人、2014年より認定NPO法人として生まれ変わり、関西を代表する楽団の一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を行っている。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。

人間の営みから生まれた音楽・・・『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。活動に明確なビジョンを持ち、挑戦し続ける個性派楽団としてますます好評を博している。14年10月よりスタートしたBSジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」（毎週月曜日・夜11時）に藤岡幸夫と共に出演中。15年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー（合計5公演）を開催し、各地で大きな注目を集めた。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

都築由美(つづき ゆみ/司会)

福井放送、東海テレビ放送（名古屋）の局アナを経てフリーに。フリーアナウンサーとしてこれまでに、NHK大阪、FM京都、奈良テレビ、ラジオ大阪等の番組に出演。

式典やクラシックコンサートの司会、シンポジウムのコーディネーター、インタビュアー、朗読、ナレーション、「コミュニケーション」や「話し方」をテーマにした講演や研修の講師など幅広く活動中。近畿大学非常勤講師。



第14回 いずみホール 夢コンサート



このコンサートは、普段コンサートにあまりお越しいただけない、障がいを持つ方々と、サポートする方々を共に招待する、音楽による社会貢献活動として、2003年から継続して開催しております。
活気あふれるオーケストラの演奏を、心ゆくまでお楽しみください。

2016年9月15日(木)14:00

会場:いずみホール

主催:一般財団法人住友生命福祉文化財団

平成28年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

特別協力: **日本音楽財団**
NIPPON MUSIC FOUNDATION

協力:

**日本財団**
THE NIPPON
FOUNDATION

<プログラム>

- J.シュトラウスII :ポルカ《雷鳴と電光》
ウェーバー :《魔弾の射手》序曲
ハイドン :チェロ協奏曲 第1番 ハ長調
I. Moderato
II. Adagio
III. Finale: Allegro molto

◇◆◇休憩 (20分) ◇◆◇

◆指揮者体験コーナー

ビゼー :《カルメン》より「闘牛士」

リムスキー=コルサコフ:

交響組曲《シェエラザード》op.35 より

- III. 若い王子と王女
IV. バグダッドの祭り - 海

指揮 : 藤岡幸夫 (関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者)

チェロ : 石坂団十郎

管弦楽 : 関西フィルハーモニー管弦楽団

司会 : 都築由美

<出演者プロフィール>

藤岡幸夫(ふじおか さちお/指揮)

慶応義塾大学、英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1993年BBCフィルの定期演奏会が「タイムズ」紙などで高く評価された後、1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー。以降数多くの海外オーケストラに客演。

マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団を経て、現在、関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者を務める。毎年40公演以上を指揮する関西フィルとの一体感あふれる演奏は、常に聴衆を魅了し、高い評価を得ている。

2014年10月にスタートし、2年目を迎えたBSジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜日、夜11時)に、指揮者・司会者として、関西フィルと共にレギュラー出演中。

2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

オフィシャル・ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

Twitterアカウント @sacchiyo0608



©SHIN YAMAGISHI

石坂団十郎(いしざかだんじゅうろう/チェロ)

ドイツで日本人の父とドイツ人の母の下に生まれる。ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学でボリス・ペルガメンシコフに師事。1998年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール、2001年ミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門で優勝し、2002年には、第1回エマヌエル・フォイアマン・コンクールでグランプリを獲得。2003年、クシシュトフ・ペンデレツキ指揮ウィーン交響楽団との共演が世界に羽ばたく契機となり、世界中の著名な指揮者やオーケストラと共演するとともに、室内楽奏者として一流の演奏家とも共演している。2005年に発売されたデビューCDは2006年ドイツ・エコー・クラシック・アワードを受賞。また、2014年にはパヴェル・ハース四重奏団と共演したCDが英グラモフォン室内楽部門を受賞した。2012年には、彼の目覚ましい活躍とクラシック音楽界への貢献が顕彰され、齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2011年よりドレスデンのカール・マリア・フォン・ヴェーバー音楽大学にて教鞭を執っている。

使用楽器は日本音楽財団より貸与されたストラディヴァリウス1730年製チェロ「フォイアマン」。



©Marco Borggreve